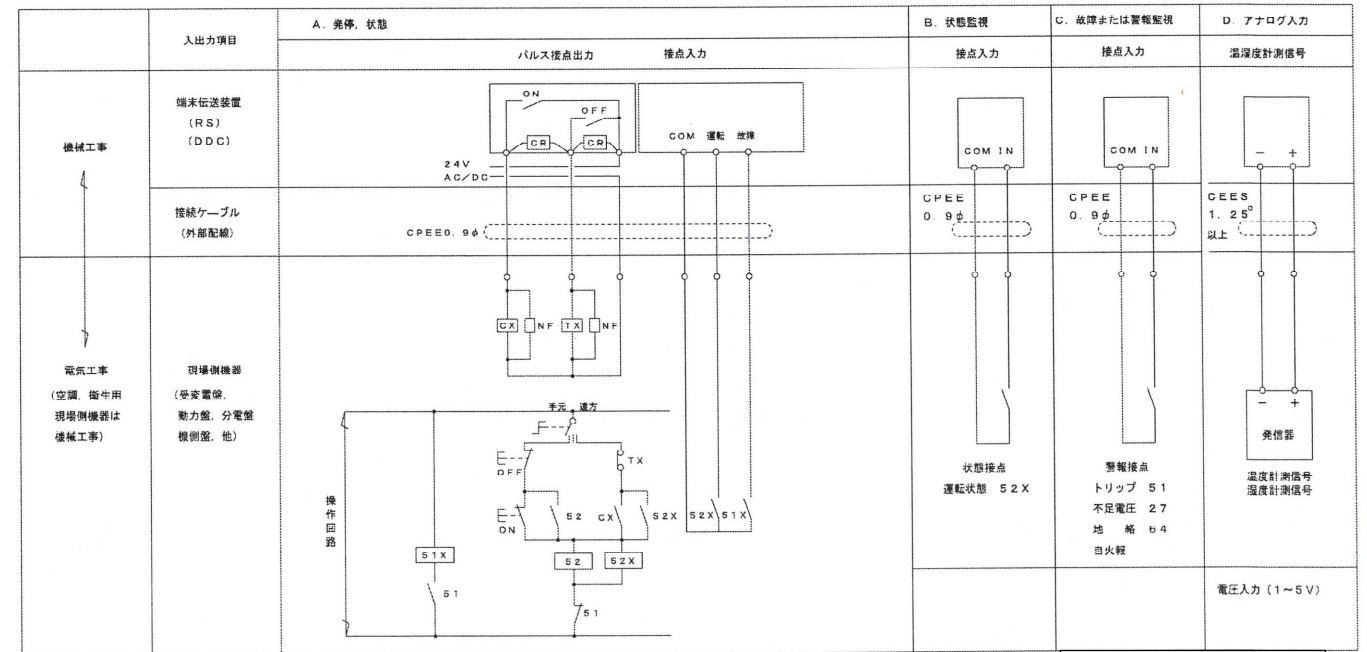


~~撤去範囲~~

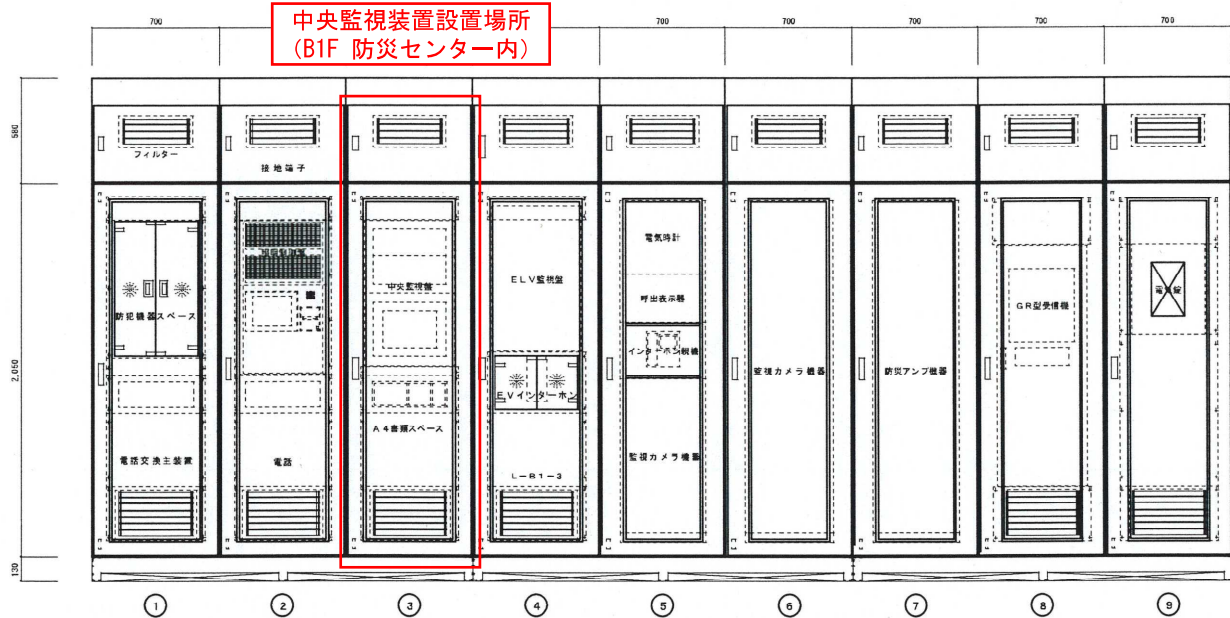
<p>1. 基本操作</p> <p>(1) タッチオペレーション LCD操作されたキー、アイコンなどタッチすることにより操作を行う。</p> <p>2. システム運用</p> <p>(1) LCD画面情報消去 画面から操作を一定時間行わなかった場合、自動的にLCD表示用バックライトが消去される。</p> <p>(2) オペレータパスワード パスワードを設定することにより、オペレータを操作レベル毎に限定する。 (3レベル)パスワードを設定しなかった場合は、誰でも操作可能とする。</p> <p>(3) 運用区分設定 警報レベルによる運用区分や時間停止指定が出来る。</p> <p>3. 監視機能</p> <p>(1) 状態監視 デジタル及びアナログ点の状態を監視する。データは定期的に更新し、随時CRTに表示出来る。</p> <p>(2) 警報発生監視 警報入力時、自動的に警報発生状態を表示し、ブザーを鳴動させる。</p> <p>(3) 発停失敗監視、不一致監視 発停出力後一定時間の成も機器の状態が一致しない時、発停失敗(異常停止/起動)として警報を発生。</p> <p>(4) アナログ上下限(偏差値)監視 アナログ値が設定した上下限(偏差)値を超えたとき上下限(偏差)警報を発生する。 運動制御用の設定値も可能とする。ポイント毎に時間設定が可能なものとする。</p> <p>(5) 警報レベル指定 ポイント毎に警報レベル(4レベル)を指定することが出来る。</p> <p>(6) 運転時間積算表示 機器の運転状態により、運転時間を積算し、保守・点検のガイドとする。</p> <p>(7) 発停回数積算表示 機器の発停回数を積算し、保守・点検のガイドとする。</p> <p>4. 表示機能</p> <p>(1) 表示画面 主表示部はカラーCRT表示とし、日本語処理による表示とする。 画面タイトル、システム状態表示、主表示等、表示エリアが区分されている。</p> <p>(2) 時刻表示 項目選択の操作により、時刻をLCD画面に表示する。</p> <p>(3) 機器リスト表示 アイコン表示により、登録されている機器の状態を表示する。</p> <p>(4) 未確認一覧表示 未確認の全警報点を発生順に発生日付、時刻付きで表示し、ポイント毎に確認可能とする。</p> <p>(5) 一覧リスト表示 警報一覧・故障一覧・未確認警報一覧・運転中機器一覧・停止中機器一覧 計測点一覧・設定一覧を表示する。</p> <p>(6) オペレーションガイド表示 画面上にオペレーション用のガイド表示を行なう。 システム状態表示 発生中の警報の有無、未確認警報の有無、停電・火災状態を表示する。</p> <p>5. 操作機能</p> <p>(1) 手動個別発停 機器リスト画面、ファンポイント画面より、手動にて機器を発停(切欠、...3位置も可能)する。誤操作防止の為、確認操作を追加した専用操作を機器毎に設定することが出来る。</p> <p>(2) 手動発停解除 複数の発停点を手動にて解除する。</p> <p>(3) 遠隔設定 遠隔での設定値、ダンパ開度の設定値変更操作</p> <p>(4) 各種設定値変更 時刻、点検値、制御入力、制御出力等のプログラム設定変更</p> <p>(5) 許可・禁止指定 ポイント単位、プログラム単位にて制御の保留</p>	<p>6. 制御機能</p> <p>(1) タイムプログラム 動力等の機器はタイ・プログラムに登録することによって、自動的にスケジュール発停(入/切)操作を行う タイムプログラムは7曜日及び休日/特別日(2種)に対し、それぞれ起動/停止の時間を自由に設定することが出来る。又、同こう1週間の残差運転時間の同時スケジュールが設定出来る。</p> <p>(2) イベントプログラム 監視点の状態変化、警報発生等指定条件として、対象動力を予め設定した状態に動作させる。</p> <p>(3) 火災プログラム 火災時に空調機等の関連機器を停止させる。 火災入力時には、CRTに火災状態を表示し、登録された機器を自動的に停止させる。</p> <p>(4) 自家発電機投入プログラム 商用電源が停電し自家発電が起動した場合に、必要な機器のみを自動的に再起動(投入)させる。 停電プログラム作動中はCRTに停電状態を表示する。</p> <p>(5) 復電プログラム 復電後自家発電から商用電源に切換った後、停電直前に運転(閉鎖)していた機器を再起動(投入)させ 再起動時の順序指定、再投入の対象外指定を可能とする。</p> <p>(6) ナントカレンダー制御 休日/特別日を設定できるカレンダーにより、テナント単位で独自のカレンダーが設定出来る。 カレンダーは年間カレンダーとし、うるう年、次の月、次の日も自動判断する。</p> <p>(7) 季節切替制御</p> <p>7. データ管理支援</p> <p>(1) 警報履歴 警報発生(復帰)履歴を長期に渡って記憶し、一表示印字を行う。データは100まで積算可能とする。</p> <p>(2) 状態・警報変化履歴</p> <p>8. ファシリテイマネージメント機能</p> <p>(1) テナント管理支援 集約制御：電圧、ガス、水道などの管理メータの自動検計を行います。メータ入力は積算入力として取り込みます。検計は、月単位で行い、データ確認のために前月値と当月値を印字します。 印字は、メータ一様別に行います。また、前月値との比較による「増/減」機能も備えています。</p> <p>9. 記録機能</p> <p>(1) メッセージプリンタ 警報記録、正常復帰記録、発停失敗記録、計測値下限記録、日誌記録、停電電圧、火災記録、操作記録、入退出記録、状態変化記録の各印字を行なう。</p> <p>10. 自己診断</p> <p>(1) 伝送系トラブル監視 リモートユニット伝送異常時、警報表示を行なう。</p> <p>11. アナシエータ</p> <p>(1) 機器の運転状態、故障、警報等の状態を赤/緑のLEDと点灯/消灯/フリッカーにより表示する。 又、ANNA(基本アナシエータ)に於てはファンポイント表示部により、現在時刻、計測点、積算点の現在値等を選択表示することが出来る。</p> <p>(2) 手動発停操作 操作キーを直接タッチすることにより、操作を行う。</p>
---	--

機器名称	システム機能	機器仕様
中央監視装置	1) マイクロプロセッサで構成し、機能はソフトウェアで処理する。 2) 周辺機器の動作制御を行なう。 3) 警報発生及び警報の正常復帰検出 4) 状態変化の検出 5) メガジュール制御 6) イベントプログラム制御 7) テナントカレンダー制御(50カレンダー) 8) 火災プログラム(火災時強制動力の停止) 9) 復電プログラム(復電時強制動力の順序制御) 10) 自家発電機制御投入 11) アナログ値(温度など)の計測 12) アナログ値の上下限警報監視 13) 運転時間積算/投入回数積算監視 14) 自己診断(システムチェック、発停エラーチェック) 15) 電力リミット制御	管理点数 : 500点 主記憶容量 : 1Cメモリ 補助電源 : 第3種単相接地 供給電源 : AC100/200V、50/60Hz 最大200VA 電源保護 : 停電後100時間のデータメモリ 及カレンダー動作 周囲条件 : 5~40℃、20~80%RH システム出力 : システム異常、警報発生、復帰時、システム入力(給電状態、自家発電切、火災) 警報ブザー : 電子ブザー
オペレータインターフェイス(LCD)	1) タッチパネルによりデータの表示、操作、警報確認を行なう。 (システム運用として、パスワードによる操作制限、運用区分設定機能も有する) 2) 各種制御プログラムの変更を行なう。 3) 各監視点の値としてアドレス、名称、単位、状態を表示する。 (ハイパーキー画面、グループ画面、プログラム画面、一覧画面、アラーム画面も表示できるものとする。) 4) 画面には毎月0、1、時刻を必要時表示する。 5) 画面にはオペレーションガイド表示を行なう。 6) 操作支援メッセージ表示 7) トレンドグラフ/バーグラフ表示 8) 警報履歴表示 9) 操作・状態変化履歴表示 10) 警報インスタクション表示	形式 : バックライト付大型LCD、10"相当 表示文字 : 英、数、カナ、漢字、記号、英文字(アイコン) 表示色 : 白黒(黒文字/白点) 操作部 : 表示部上全面タッチパネル LCD自動消去
プリンタ(PRT)	1) 各種メッセージデータ警報も警報し印字する。 警報時には、復旧時に分けて印字する。 2) 警報の印字(アドレス、時刻、名称、データ、単位、種類) 3. 正常復帰の印字 4. 手動操作記録 5) 各種データを一覧形式で印字する。 1. 定時自動日積算/定時自動日積算 2. 各種一覧リスト 警報一覧、故障一覧、計測点一覧、未確認警報一覧 運転/停止中機器一覧 3. 履歴印字	印字方式 : インクジェット方式 印字色 : 256色 印字用紙 : A4普通紙 電源 : AC100V±10%、60Hz、Max30VA
アナシエータ(ANN-A)(ANN-B)	1) 警報発生時に警報又は、計測値、故障、運転OFF時刻等を表示する。(ANN-Aのみ) 2) 警報、状態、警報点の状態を常時表示する。(ANN-A、-B) 3) 警報点の個別手動発停操作を行なう。 (ANN-A、-BのポイントにANN-Aの共通操作よりコマンドする) 4) 運転OFF時刻の変更操作を行なう。	構成要素 : 7セグメント、6桁(ANN-Aのみ) 操作部 : 発停/停止、運転OFF時刻変更 ランプ表示 : ANN-Aのみ 常時表示灯 : LED、2灯(赤、緑) ANN-A : 4.0点 ANN-B : 5.0点
リモートユニット	1) 現場に設置して中央監視装置とデータ伝送を行なう。 2) リモートユニットと各入力点検は個別記録とし、動力部との情報取り合いは補助リレー等で電氣的に分離して入出力点の事故から影響を受けないようにする。	入出力点数 : 電源 : AC100/200V±10%、50Hz/60Hz
伝送機	1) リモートユニットと中央監視装置間のデータ伝送をする。	IPEV-S 0.8x1P 種別
UPS	1) 中央監視装置に停電電源を供給する。	容量 : 1KVA 入力 : AC100V 出力 : AC100V バッテリー動作時間 : 最大15分

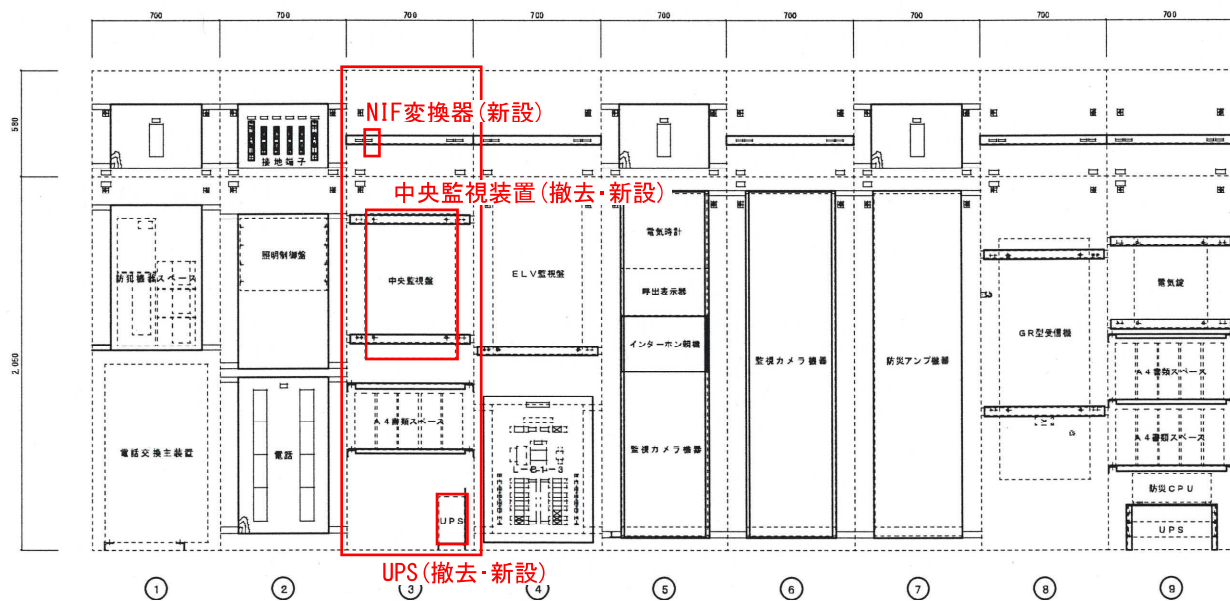
既設再使用
既設再使用



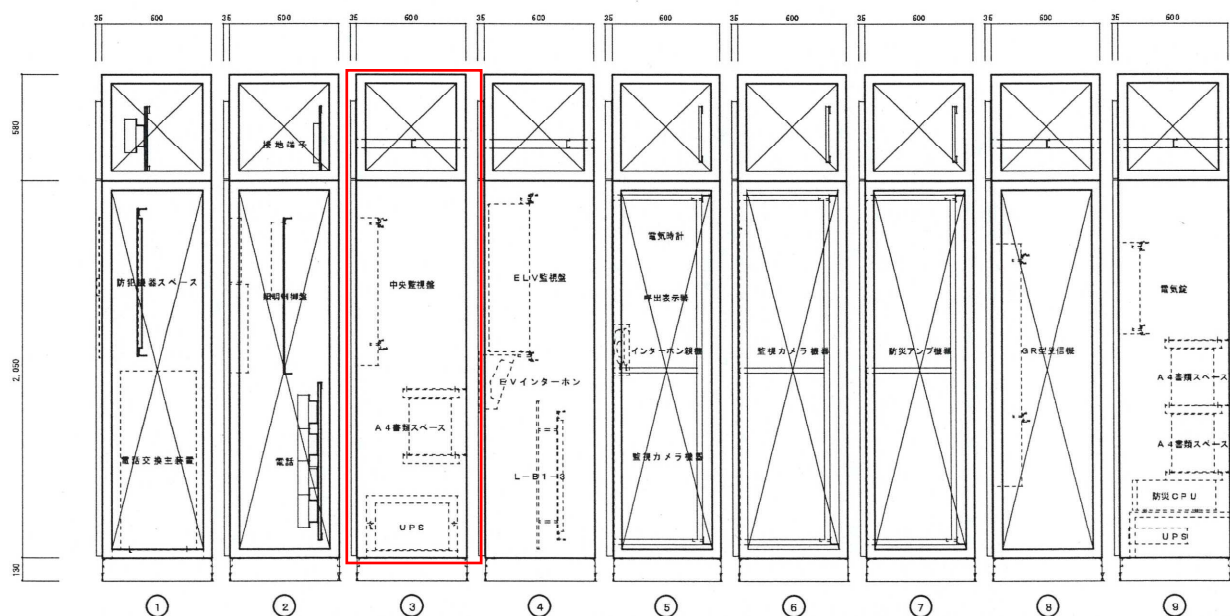
主総合監視盤 正面図 1:20



主総合監視盤 内部図 1:20



主総合監視盤 断面図 1:20

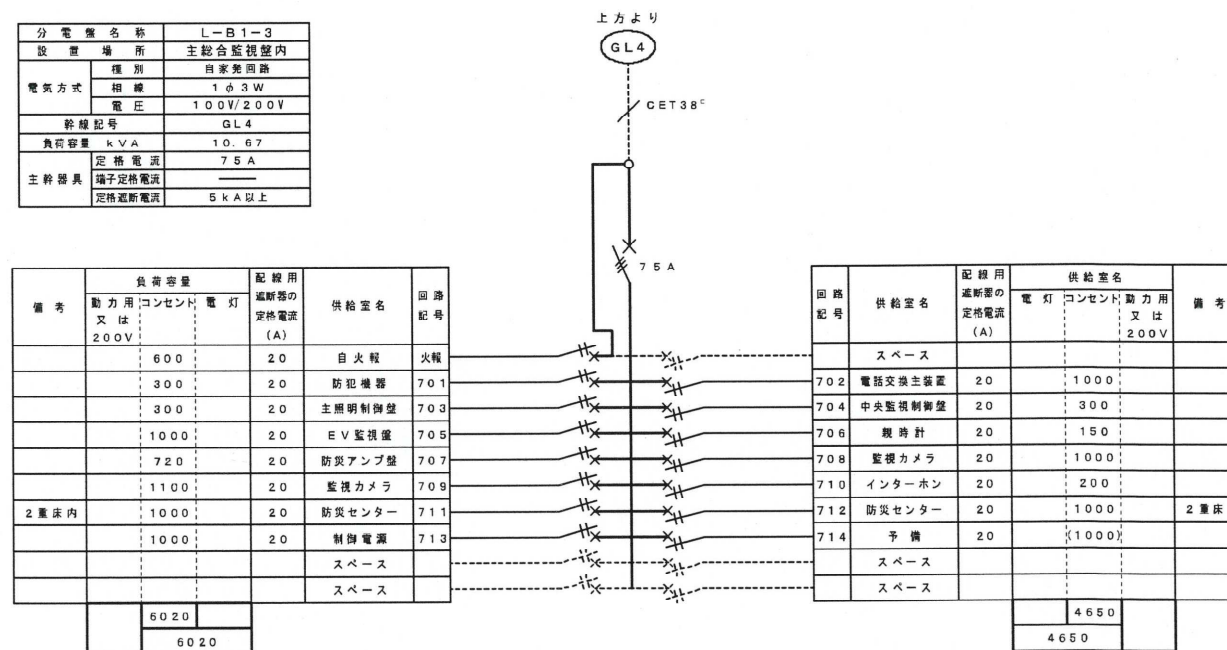


主総合監視盤 機器仕様

番号	名称	機器仕様
①	電話交換装置	仕様詳細図参照
	防犯機器収納スペース	
	端子・配線スペース	254R端子100P×1
②	主照明制御盤	仕様詳細図参照
	端子	254R端子100P×8
	接地端子	E t (交換機用)
		E A t (アンプ・時計・インターホン用)
		E D t (防犯・EV監視用)
③	中央監視制御盤	機器別途機械工事
	中央監視制御盤用UPS	機器別途機械工事
	A4書箱スペース	
	上部配線スペース	
④	EV監視盤	機器別途EV工事
	EVインターホン	機器別途EV工事
	電灯分電盤	結線図参照
	上部配線スペース	
⑤	時計	仕様詳細図参照
	呼出表示器(身障者用)	仕様詳細図参照
	インターホン装置	仕様詳細図参照
	監視カメラ機器	仕様詳細図参照
	端子・配線スペース	254R端子100P×1
	監視カメラ機器	仕様詳細図参照
⑥	上部配線スペース	
	防犯アンプ機器	仕様詳細図参照
	端子・配線スペース	254R端子100P×1
⑦	GR型受信機	仕様詳細図参照
	上部配線スペース	
	電気盤	機器別途建築工事
⑧	GR型受信機用CPU	機器別途建築工事
	A4書箱スペース	
	上部配線スペース	

主総合監視盤内分電盤結線図

分電盤名称	L-B1-3
設置場所	主総合監視盤内
種別	自家発電用
電気方式	相線 1φ3W
	電圧 100V/200V
幹線記号	GL4
負荷容量 kVA	10.67
定格電流	75A
主幹器具	端子定格電流
	定格遮断電流 5kA以上



備考	負荷容量	配線用	供給室名	回路
	動力用コンセント	電灯		記号
	又は	定格電流		
	200V	(A)		
	600	20	自火報	火報
	300	20	防犯機器	701
	300	20	主照明制御盤	703
	1000	20	EV監視盤	705
	720	20	防災アンプ盤	707
	1100	20	監視カメラ	709
2重床内	1000	20	防災センター	711
	1000	20	制御電源	713
			スペース	
			スペース	
	6020			
	5020			

回路	供給室名	配線用	供給室名	回路
記号		減断線の		記号
		定格電流		
		(A)		
		電灯	コンセント	動力用
			又は	又は
			200V	
	スペース			
702	電話交換装置	20	1000	
704	中央監視制御盤	20	300	
706	時計	20	150	
708	監視カメラ	20	1000	
710	インターホン	20	200	
712	防災センター	20	1000	2重床内
714	予備	20	1000	
	スペース			
	スペース			
			4650	
			4650	

主総合監視盤・製作仕様	
形式	自立型
箱体	鋼板 t1.6
扉板	鋼板 t2.3
器具板	鋼板 t3.2・合板 t15
塗装	メラミン焼き付け指定色塗装
枠	アルミ枠

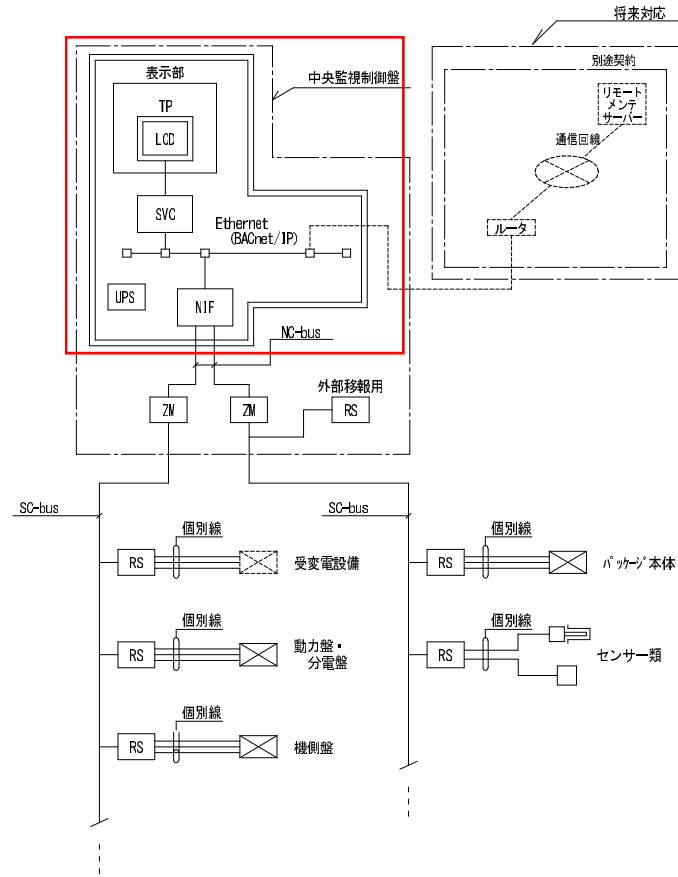
業務名：国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
中央監視装置取替修繕業務 (2/6)

既設撤去・新設 (姿図)

1. システム構成図

- ・B1F防災センター設置の中央監視盤の撤去、更新を行う。
- ・既設幹線接続用のインターフェース(NIF)を中央監視室内へ設置する。
- ・幹線及び各リモート室内のリモートユニットは既設再利用とする。
- ・各種パラメータの設定、システムの立上げ作業等を行い、正常に機能するように点検及び動作試験・調整作業を行う。

更新後

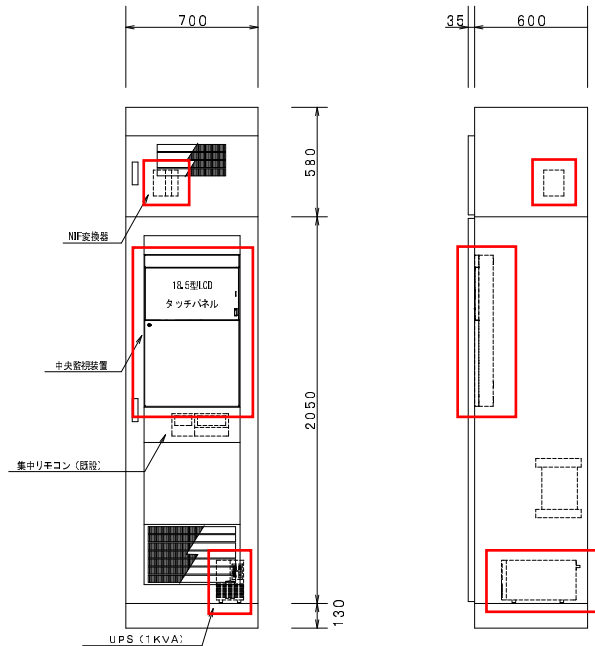


新設範囲

3. 中央監視機器機能表

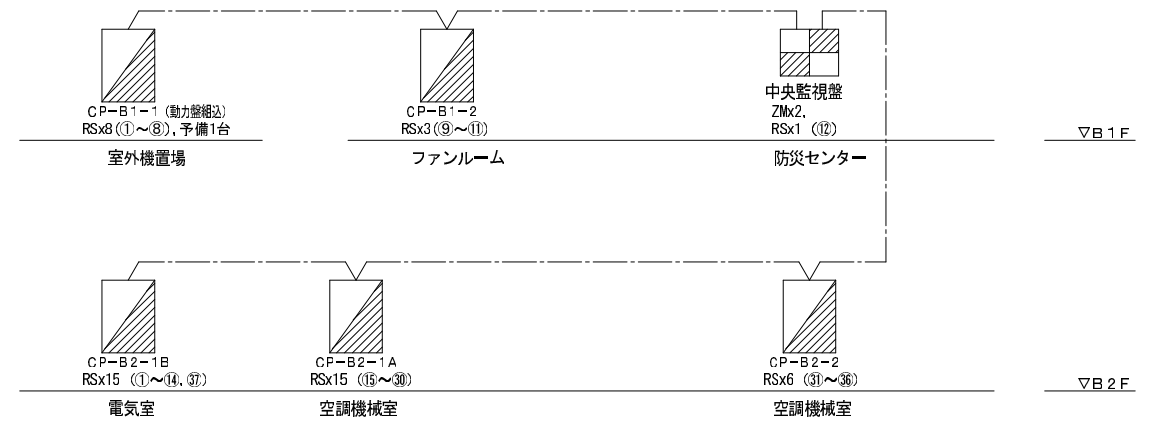
記号	名称	概要	参考仕様	備考
LCD/TP	液晶ディスプレイ タッチパネル	表示の中心となるユニットで、各種のリストやグラフの表示を行う。 又、マルチウィンドウ表示により複数のグラフ、データの同時表示を行う。	電源 : DC24V 表示サイズ : 18.5型 表示色 : 1677万色以上 表示文字 : 英数字、カナ、ひらがな、漢字(JIS第1,第2水準)、 記号及び、図形 解像度 : 1366×768ドット(標準)	新設
SVC	統合コントローラ	PC(中央監視端末)のシステム全体の 管理情報(ポイント、プログラム等)の表示、設定、 操作を行う為の情報の一元管理を行う。 また、システム全体の管理、定周期でのデータ収集、蓄積、加工及び、下記の 周辺装置への入出力を統括管理する。(24時間連続運転対応) 各コントローラと伝送を行い、ポイントデータ、スケジュール制御等を管理する。 又、トレンドデータの蓄積を行う。	主処理装置 : 64ビットCPU 主記憶容量 : 2GB以上 補助記憶装置 : SSD等 (システム機能仕様を満たすこと) OS : Linux 最大管理点数 : 500ポイント 電源 : AC100~240V 50/60Hz, 60VA	新設
NIF	NC-bus インターフェース	中央監視装置とNC-bus通信リモート機器との通信を行う。	通信方式 : 上位レベル BACnet/IP 下位レベル NC-bus(専用通信) NC-busライン数 : 4ライン/ユニット 電源 : AC100V, 60Hz, 63VA	新設
Ethernet (BACnet/IP)		中央監視装置の基幹をなす伝送幹線であり、各種データ伝送を行う。 通信プロトコルはBACnet 2012(プロトコルレビジョン14)、 HTTPSなど。	通信方式 : Ethernet, TCP/IPプロトコル群, IPv4対応 通信速度 : 100Mbps ケーブル仕様 : 100BASE-T(カテゴリ5e以上) 100BASE-FX 1000BASE-T(カテゴリ5e以上) 1000BASE-SX(GIマルチモード)又は 1000BASE-LX(SMシングルモード) (エコマテリアル)	新設
UPS (簡易型)	無停電電源装置	中央監視装置及び、必要な端末伝送装置に無停電電源を供給する。	入力 : AC/GC 100V 出力 : AC100V 1KVA バッテリー動作時間 : 10分 バッテリー種類 : 小型シール鉛蓄電池 給電方式 : 常時インバータ方式	新設
NC-bus	コントロール・バス	中央監視装置と端末伝送装置間のデータ伝送を行う。	通信方式 : 専用通信 通信速度 : 4800bps ケーブル仕様 : 1PEV-S 0.9-1P	既設再利用
SC-bus	伝送線	ZMと端末伝送装置間のデータ伝送を行う。	通信方式 : 専用通信 通信速度 : 4800bps ケーブル仕様 : LANケーブル, コネクタ接続 (EIA568準拠カテゴリ3~5 0.5φ×4P)	既設再利用
RS	端末伝送装置	現場に設置して中央監視装置とデータ伝送を行う。 端末伝送装置と各入出力点数は個別配線する。	電源 : AC100~240V, 60Hz 通信方式 : 専用通信	既設再利用
ZM	ゾーンマネージャ	中央監視と連携し、端末伝送装置(RS)と 中央監視装置とのデータ通信を行う。	接続可能台数 : 50台(RS)/ZM 電源 : AC100~240V 50/60Hz 通信方式 : 専用通信	既設再利用

2. 参考姿図



※図体再利用とする。

4. 幹線系統図



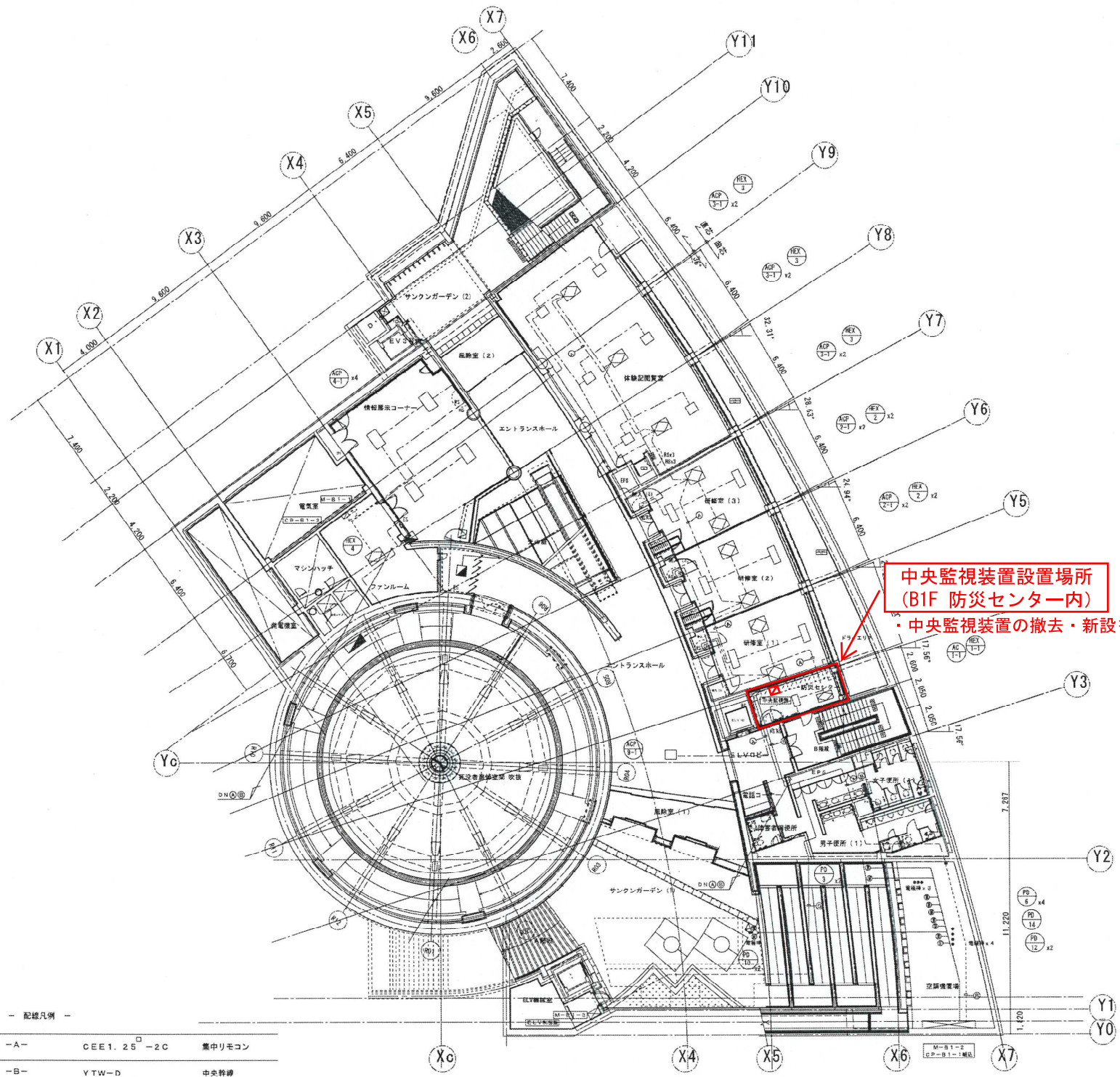
業務名: 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
中央監視装置取替修繕業務(3/6)
中央監視システム(1)(新設)

(新設機能ソフトウェア)

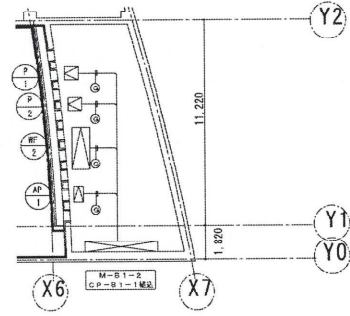
<p>1. システム基本機能</p> <p>(1) 操作方法 タッチパネルにより操作を行う。</p> <p>(2) 機器個別発停操作・設定値変更 グラフィック画面、チャート画面、ログ画面またはポイント一覧画面より管理点を選択して機器の発停操作・設定値の変更を行う。</p> <p>(3) 状態監視 管理点の状態・計測値・計量値の監視を行う。</p> <p>(4) 警報処理 管理点・システム構成機器の警報発生・復帰の監視を行う。 また、火災時処理・停復電時処理・電力デマンドといった制御の警報発生・復帰の監視を行う。 警報発生時は、最新の警報内容を警報通知ウィンドウに表示すると共に、インジケータの点灯表示を行う。 また、警報レベル（10段階）に応じてブザー鳴動（音色4種類）を行う。 さらに警報時には、警報となった管理点に登録されている対象グラフィックまたはチャートを強制的に表示することができる。</p> <p>(5) サービス外機能 BACnet デバイスのポイント状態を実際のポイントの状態ではなくユーザーが指定する値に変更することができる。 これにより一時的に警報を抑制したり、任意に設定した値を入力値とし制御を継続することができる。</p> <p>(6) 強制操作機能 BACnet デバイスのポイント出力について、一般制御からの指令を保留しユーザーが指定する値に変更することができる。 ただし、非常時（火災や停電の際）は火災時制御、停電時制御からの指令を優先とする。</p> <p>(7) 変化蓄積 定周期スキヤンまたは状態変化により前回値から変化した際の時刻とデータを蓄積し、関連アプリケーションへ蓄積データを提供する。 ・ユーティリティベイン履歴表示 ・データ集計 ・チャート表示など</p>
<p>2. 基本画面機能</p> <p>(1) アプリケーションウィンドウ表示 アプリケーションウィンドウとして最大3ウィンドウを同時に表示することができる。 さらに警報時に強制表示するためのウィンドウを1枚表示することができる。</p> <p>(2) 画面スクロール機能 画面上にすべての情報を表示しきれない場合は、スクロール機能により画面を移動させ表示することができる。</p> <p>(3) 画面履歴表示 ユーザー毎に、現在の監視用PCで閲覧した画面履歴を保持し、該当画面を呼び出すことができる。</p> <p>(4) ユーザ管理とアクセス権 管理点や各種機能を運用区分（設備・系統・場所等）に振り分けを行う。 ユーザIDとパスワードを登録し、運用区分に対して操作のアクセス権（表示不可/表示のみ/一般レベル/管理レベル/エンジニアリングレベル）を設定できる。 ユーザー離職時のユーザー無効化忘れを防止するために、ユーザごとに有効期限を設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワードは無期限もしくは有効期間を設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワードに必要な最小入力文字数を設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワードに記号・数字・英大文字・英小文字を1文字以上必要とするかを各々設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワードは過去と異なるパスワードにしなければならないかを設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワード認証によるログインに設定回数連続で失敗した場合に、ユーザを無効化することができる。 ユーザごとに、ログイン可能とする曜日や時間帯を制限するために、カレンダーやスケジュールによって管理点の状態がACTIVE状態である場合のみログインを維持することができる。</p> <p>(5) ポイント一覧表示・詳細表示 ポイント一覧画面で管理点を一覧表示できる。 表示された情報は名称、運転状態、警報状態 等によりフィルタリングができる。 また、任意のポイントをあらかじめグループ化して表示することもできる。 ポイント詳細画面で発停操作や設定変更ができる。 重要機器の発停操作時は、通常の発停操作（操作→実行）の他に、確認動作を入れた3アクション操作（操作→確認→実行）を可能とする。 確認時に、任意のメッセージ表示によりオペレータに注意を促すことができる。</p>
<p>3. 監視機能（ポイント監視系）</p> <p>(1) アナログ上下限監視 計測値が設定された上下限値を超えた時に警報を発生させ、上下限範囲に入った際に警報を復帰する。 または、計測値と設定値の差が、設定された値を超えた時に警報を発生させる。 ポイント一覧によって、複数の設定値を一括で変更できる。 上下限ともに3段階まで設定できる。</p> <p>(2) 活性経過時間 機器の活性経過時間を監視し、あらかじめ設定された値を超えた機器を一覧形式で表示する。</p> <p>(3) 状態変化回数 機器の状態変化回数を監視し、あらかじめ設定された値を超えた機器を一覧形式で表示する。</p> <p>(4) 状態継続時間監視 機器が連続して活性状態となっている時間をカウントし、あらかじめ設定された上限値を超えた時に警報を発生させる。</p> <p>(5) 積算増分監視 監視期間内（30分/1時間/1日）の積算増分値が設定された値を超えたときに、上限警報として警報を発報し、監視期間終了時に警報復帰する。</p>

<p>4. 監視機能（一覧表示系）</p> <p>(1) グラフィック画面表示 建物内の管理点情報を平面図・断面図、または系統図などのグラフィック画面で表示する。 画面上の管理点のシンボルを選択することで、操作/設定値の変更操作を可能とする。 複数の管理点を選択し、一括で操作/設定値の変更を可能とする。 グラフィックに配置されている管理点の一覧を表形式で表示することもできる。 機器の状態は、状態変化や警報発生時に、シンボルの色変化・形状切換により表示する。 また、警報発生時、指定されたグラフィック画面を強制的に表示する。 計測値・計量値は、数値、色変化、メータ等で表示する。</p> <p>(2) アナシエータ表示 各設備の状態を画面上にアナシエータ（集合表示灯）形式で表示する。表示は個別情報が見やすい拡大モードと一貫性に保たれる縮小モードの選択が可能とする。ポイントの状態が一目で判断できるよう、ボタンの表示色が変化する。また、アナシエータ表示灯を選択すると、ポイントの状態がユーティリティベインに表示され、ポイントの発停・設定値変更の操作や状態を確認できる。 また、ユーザーは自由にグループを作成可能とする。</p>
<p>5. データ管理機能</p> <p>(1) データ集計 変化蓄積データから、計測値、積算値、機器の活性経過時間や状態変化回数などの時データ・日データ・月データを集計し、一定期間蓄積する。 データ蓄積期間は次の通りとする。 ・時データ：本日を含む428日分（14ヶ月分） ・日データ：本月を含む120ヶ月分（10年分） ・月データ：本年を含む10年分</p> <p>(2) チャート 変化蓄積またはデータ集計にて蓄積されたデータをグラフで表示する。 各グラフは2期間分を比較表示することができる。 【時系列グラフ】 ・折れ線グラフ、積み上げ折れ線グラフ：アナログポイント・デジタルポイント（現在値）の 変化蓄積データ、時データ、日データ、月データ ・バークラフ、積み上げバークラフ：積算ポイント・デジタルポイント（活性経過時間・状態変化回数）の 変化蓄積データ、時データ、日データ、月データ ・力率グラフ：力率ポイント 【非時系列グラフ】 ・円グラフ：時データ、日データ、月データ ・散布図：時データ、日データ CSV形式のファイルを手動または指定時刻に自動で出力できる。</p> <p>(3) 日週月年報 データ集計によって集計・蓄積された計測値や積算値を、日週月年報告のXLSX形式で表示する。 ・日報：時報データ、日集計データ ・週報：日報データ、週集計データ ・月報：日報データ、月集計データ ・年報：月報データ、年集計データ ODS/CSV形式のファイルを手動または自動で出力できる。</p> <p>(4) ログ 警報や状態変化、操作設定などの情報をログとして蓄積・管理する。 表示中のデータは、任意の条件指定によりフィルタリング、コメント入力ができる。 ODS/CSV形式のファイルを手動または指定時刻に自動で出力できる。</p>
<p>6. 制御機能</p> <p>(1) カレンダー カレンダーの設定を行う。 11種類の日付種別（祝日・特別日・夏季休暇日・冬季休暇日など）を2年先まで指定できる。 また、ユーザーによるカレンダー設定の変更を可能とする。</p> <p>(2) スケジュール あらかじめ設定されたスケジュールに従って機器の起動/停止や設定値変更、季節切替を自動で行うことができる。 週間スケジュールは、曜日ごとのスケジュールに対応する。 優先スケジュールは、最大11種類の日付種別（祝日・特別日・夏季休暇日・冬季休暇日など）に対応するカレンダー情報と週間・優先マスタスケジュールにより、当日を含む7日間の実行スケジュールを作成する。実行スケジュール上で起動・停止時刻の変更ができる。 また、ユーザーによるスケジュール設定の変更を可能とする。 複数のスケジュールをグループ化し、一覧表示したり、一括設定変更ができる。</p> <p>(3) 数値演算 システムで監視されている様々な値を利用して数値演算を行い、演算結果を管理点に出力できる。 また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。</p> <p>(4) 条件演算 管理点の状態変化・警報発生など、特定条件を満たす場合に機器運動や運転組み合わせ、順次投入、設定値変更などを自動で行う。 また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。</p> <p>(5) 警報移報 管理点の代表警報を外部接続にて出力する。 また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。</p> <p>(6) 火災時制御 火災信号入力時、ブザー鳴動、火災インジケータ点灯表示、ログにより火災発生のお知らせを行う。 また、火災信号入力時、空調機等の関連機器を自動的に停止することを可能とする。 火災時の動作は、他の制御より優先して実行する。 火災復帰時は、手動操作で火災時制御を解除する。</p>

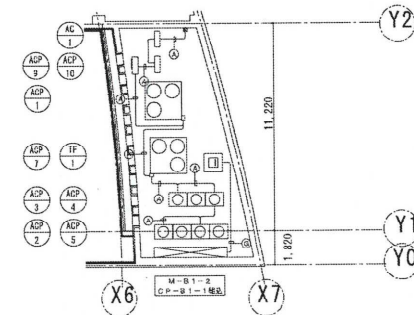
<p>(7) 停電 商用電源断検出時、ブザー鳴動、停電インジケータを点灯表示する。 一般制御は実行保留とする。但し、火災時制御は実行できる。</p> <p>(8) 自家発時順序出力 自家発起動検出時、登録されている機器に対して順序出力を行う。 また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。</p> <p>(9) 自家発時負荷配分 自家発運転時、自家発使用電力と目標電力の比較により負荷の投入/遮断を行う。 投入/遮断は、あらかじめ指定されている優先順位（15レベル）に従う。 また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。</p> <p>(10) 復電 商用電源復帰検出時、復電処理を行う。 発停点は停電前の状態及び、停電中に保留された一般制御出力にあわせて起動/停止を行う。</p> <p>(11) 復電時順序復帰 登録されている管理点に対して、予め指定した順序および間隔で復電処理を行う。 また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。</p> <p>(12) 電力デマンド 受電電力量を積算し、30分毎のデマンド予測を行う。 目標電力の超過が予測された時及び、超過した時は、警報を発する。 取引用デマンドメータとの同期は、外部信号または操作画面により行う。 デマンド予測が目標電力を超過しないよう負荷の遮断・投入を行う。 またインバータへのアナログ出力値の指定ができる。 遮断・投入は、あらかじめ指定されている優先順位（15レベル）に従う。 電力デマンド制御の結果を履歴として蓄積し目標値及び、デマンド値を表示する。 履歴データはCSV形式でのファイルを手動出力を可能とする。 また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。</p> <p>(13) 力率改善 力率（または無効電力）と有効電力の入力により、進相コンデンサの投入/遮断を行い、力率を改善する。</p> <p>(14) 間欠運転 スケジュール制御やオペレータの操作などで起動している空調機に対して、間欠運転を行う。 間欠運転により停止した機器は、運転開始すべき時刻の前であっても、設定した温度、またはCO2濃度の逸脱によって運転を再開できる。 また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。</p>



中央監視装置設置場所
(B1F 防災センター内)
・中央監視装置の撤去・新設を行う



空調機置場下部



空調機置場上部



— 機器配線凡例 —

○	RS	CEE1. 25 -2C
○	HS	CEE1. 25 -2C
○	TS	CEE1. 25 -2C
○	EG	FP1. 2 -6C
⊗	dPS	CEE1. 25 -2C
□	TD1	CEE1. 25 -2C
□	HD	CEE1. 25 -2C
□	THED	CEE1. 25 -5C
		CEES1. 25 -2C
⊗	MD1. 2	CEE1. 25 -3C
⊙	フロート	付属ケーブル
⊙		付属ケーブル
⊙		集合SW盤 (電気工事) 配管・配線・SW取付は本工事

— 配線凡例 —

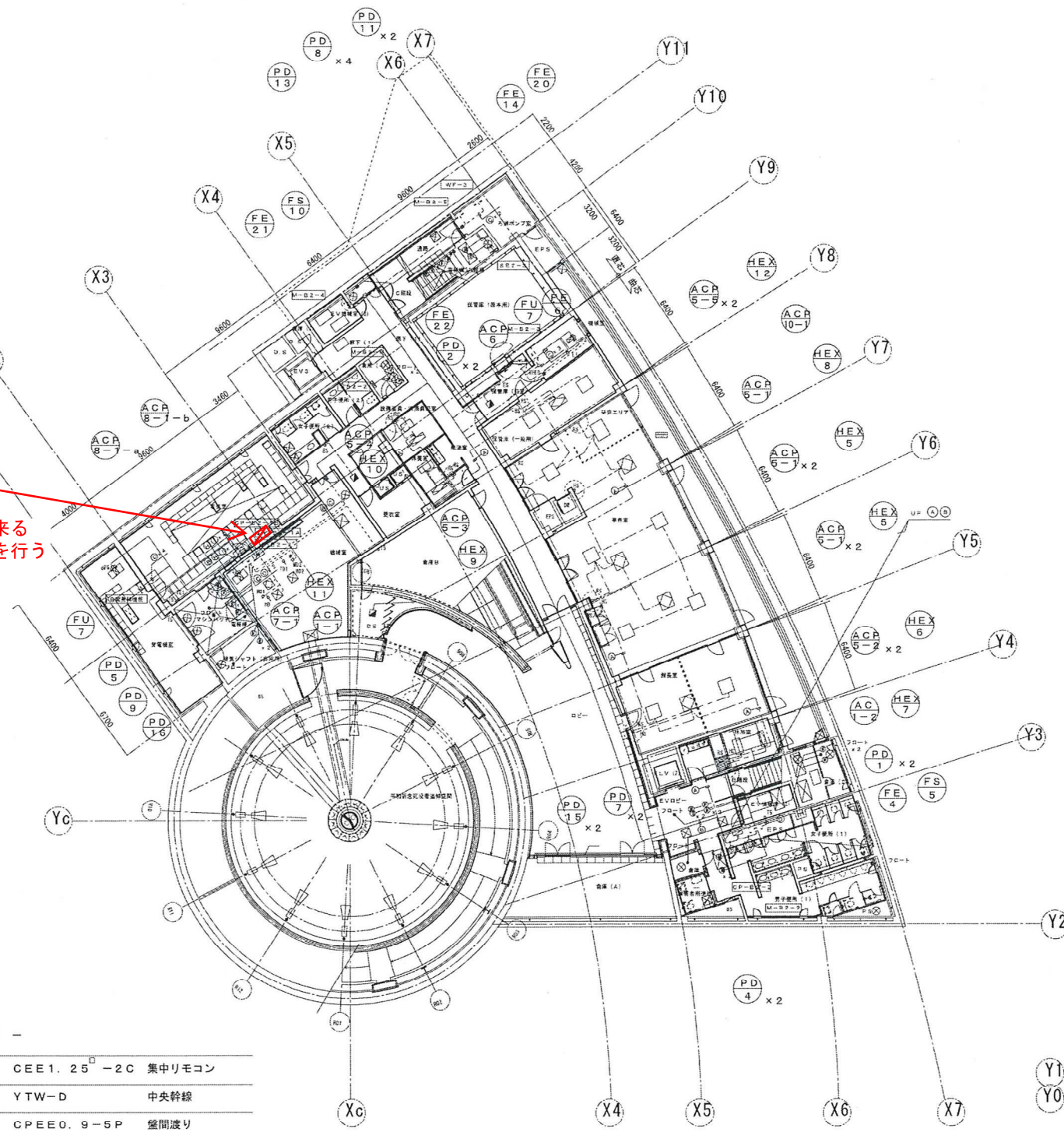
-A-	CEE1. 25 -2C	集中リモコン
-B-	YTW-D	中央幹線
-C-	CPEE0. 9-5P	差間渡り
-D-	CEE1. 25 -2C	T5, TD1, HD
-E-	CEE1. 25 -3C	MD1, 2
-G-	CPEE0. 0-3P	差間渡り
-H-	CEES 2 -20C	キュービクル
-I-	CPEE0. 9-30P	キュービクル

業務名：国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
中央監視装置取替修繕業務 (5/6)

B1F 平面図

B2F CP-B2-1盤

・上水使用量の推移データが確認出来る様に予備ユニットにて管理点の追加を行う
 将来用：上水使用量 x1点 積算m
 (二次側外線は別途将来工事)



— 機器配線凡例 —

○	RS	CEE1. 25 [□] -2C
○	HS	CEE1. 25 [□] -2C
○	T5	CEE1. 25 [□] -2C
○	ES	FP1. 2 -6C
⊗	dPS	CEE1. 25 [□] -2C
—□	TD1	CEE1. 25 [□] -2C
—□	HD	CEE1. 25 [□] -2C
—□	THED	CEE1. 25 [□] -5C
		CEES1. 25 [□] -2C
⊗	MD1. 2	CEE1. 25 [□] -3C
⊙	フロート	付属ケーブル
⊙		付属ケーブル
⊙		集合SW盤 (電気工事) 配管・配線・SW取付は本工事

— 配線凡例 —

-A-	CEE1. 25 [□] -2C	集中リモコン
-B-	YTW-D	中央幹線
-C-	CPEE0. 9-5P	盤間渡り
-D-	CEE1. 25 [□] -2C	T5. TD1. HD
-E-	CEE1. 25 [□] -3C	MD1. 2
-F-	CEE2 [□] -2C	漏水センサー
-G-	CPEE0. 9-3P	盤間渡り
-H-	CEES2 [□] -20C	キュービクル
-I-	CPEE0. 9-30P	キュービクル

